

5月11日3年看護医療類型の授業では、大阪市立大学生活科学部准教授高橋孝子先生に来ていただき、生活習慣病について

の講義をしていただきました。糖尿病の説明では足が壊疽を起こした写真を紹介、病気の深刻さや合併症の怖さなどを話されました。改善に向けては食事療法についてバランスのとり方や食品交換表等を用いて摂取カロリーの説明をされました。運動療法や薬物療法は医師からの指示に基づ

いて症状を見ながら処方されるそうです。生徒は資料を見ながら説明を聞き、必死にメモを取っていました。看護師を目指す生徒が多いだけに真剣さが伝わってきました。

同じ時間帯、生活科学科では2年課題研究の授業で菓子工房「ふわり」の三村明日香代表がクーブグラスを利用したダグリュームゼリーの製作について実習を行っておられました。ヘラを使ってクリームをかき混ぜる際の注意点ではヘラのどの部分を使ってボールをどのように回すのかなど細かな所作を指摘、最初が肝心とばかりに家庭でする際の癖の修正を強調されていました。いつ見ても作業をテキパキと片付けと並行しながら仕上げに取り掛かるなど隙を見せない授業で生徒たちも緊張感を漂わせているのがよくわかります。栄養班では、6月から実施される福田小学校での食育授業に向けての発表材料の制作を行っていました。緊急事態宣言が早く解除され、外での活動が少しでも行えるようになり、生徒たちが身に付けた成果を発表できる場が増えていくことを願っています。



今月末に行われる生徒会選挙の立候補者が出揃いました。今回は生徒会長に2名が立候補したので、決選投票となります。2年3組西山峻也君と2年4組森澤美咲さんです。ともに1年生の時から生徒会活動に参加してくれていたもので、頼もしい限りです。副会長には2年6組奥村花菜さんと1年3組高井咲依さんが、文化部長には2年7組末廣敦士君、副部長に2年7組山本凌久君が、体育部長には2年2組岡本遥輝君、副部長に2年3組南谷柚杏さんがそれぞれ立候補してくれました。会長以外は信任投票となります。中間考査後の選挙となりますが、社高校をみんなで盛り上げるための第一歩となります。公平公正に投票してください。

さて緊急事態宣言の延長を受け、12日より商業施設や公的施設での対応、またイベント集客対応等が変わってきます。学校生活は部活動の幅が広がった以外はほとんど変わらないのですが、兵庫県の新規感染者も一時期に比べると少し減ってきたように感じます。このまま減り続けてくれればよいのですが…。全国各地で同じような現象が見られていますので、全国的に落ち着くにはまだまだ時間はかかりそうです。そんな中始めた校長面談ですが、修学旅行のことや進路のことや気になっている生徒も見られ、特に生活科学科は外での活動が制限されているため、発表の場が少ないことを残念に思っている生徒もいます。2度目になる校長面談ですのであまり多くのことを語ってはいけないのですが、言葉の端々に成長が感じられ嬉しく思っています。そして生徒たちが少しでも前を向いて、新型コロナ感染拡大防止の影響で制限された残念な部分を少しでも取り除けるように生徒たちの話に耳を傾けたいと思います。

また5月23日に予定されていた加東市での聖火リレーは公道使用が中止となり、2日間のゴール地点姫路と篠山でランナーだけが集められてトーチをリレーすることになったそうです。本校も吹奏楽部、放送部、そしてサポートランナーとして生徒会を中心に5名が協力する予定でしたが、残念ながら企画自体がなくなりました。トーチは市役所に飾られるそうですが、一生の思い出となるチャンスだっただけに残念で仕方ありません。現状を考えると仕方がない感じですが、これほど長く新型コロナの影響が続くことをだれが予想したでしょうか。早く終息してほしいと誰もが思っていると思います。できることをしっかりやってその時が来るのを待ちましょう。

来週からは中間考査が始まります。バスケットやサッカーはこの週末も県総体があるようですので、いろいろな意味で生徒たちも大変ですが、時間の使い方を工夫して頑張ってください。今年1年の最初の定期考査です。できる準備を整え、考査に臨みましょう。よろしくお願いします。